

## 2016年度 ジュニアバスケットボール教室 生徒募集のご案内

### 1. 趣旨

私ごとですが、男子U-15の北海道ブロックエンデバーコーチを過去5年間務め、その間毎年東京で実施されるトップエンデバーに参加し、伝達講習会を行う中で多くのことを学ばせてもらいました。しかし、エンデバーの伝達講習を受けられる者は、まだまだごく一部の生徒に限られており、裾野には広がっていないのが現状です。そこで、もっとより多くの生徒にエンデバーの考え方や技術を伝える機会を作り、私が学ばせてもらったことをより多くの生徒に還元したいと考え、このような企画を立ち上げました。

※エンデバーとは、日本バスケットボール協会が打ち出した日本のバスケットボールのレベルアップと世界に通用するプレーヤーの発掘・育成のための一貫指導システムのことです。

### 2. 対象生徒

基本的に中学校からバスケットボールを始めた生徒(中学1年~3年生)で、基礎的なスキルを学びたいと考えている生徒。申し込み人数が多数になっても、全員受け付けます。スキルの習熟度は問いません。

申し込みは別紙申し込み用紙を使用して、6月17日(金)18時までに申し込むこと。申し込み後はこちらから案内などはしませんので、下記の日時の初回の練習に直接お越しください。

※申し込み用紙はホームページからダウンロードしてください。

### 3. 応募条件

- (1) 中学校のバスケットボール部に所属していること
- (2) 基本的に少年団に所属していなかった生徒(途中で退団したり、わずかな期間のみ所属していた生徒や、所属していたが、基礎的なことから学びたいという意思のある生徒は受け入れたいと思います。)
- (3) 自分が所属している学校の部のスポンサーの先生から許可を得られた生徒
- (4) 保護者の送迎ができること
- (5) 交通費の支給はしないことと、怪我に対する責任は一切負わないことを了解できること
- (6) バスケットボールが大好きな生徒
- (7) 明るいあいさつができ、マナーを守って参加できる生徒(澄川中学校の体育館を借りて実施しますので、澄川中学校の先生方にも気持ちの良いあいさつを)
- (8) 内容は基本的なドリルが中心になりますので、基礎を学びたいという生徒のみ、応募して下さい。5対5のゲームを期待している人は、期待外れになると思われますので、応募は見合わせた方が良いでしょう。
- (9) 練習内容は積み上げ方式になりますので、継続して参加出来る生徒が応募した方が良いでしょう。
- (10) ボールは個人で用意すること
- (11) 準備・片づけを率先してできる生徒

### 4. 実施期間と日時

毎月2回の頻度で、2017年5月末まで実施。基本的に木曜日の午後7時~午後9時に行います。長期休業中は開始時間が早まることもあります。

※参加生徒はその都度募るのではなく、初回に申し込んだ生徒で2017年5月末まで実施します。

## 5. 会場と指導者

会場 札幌市立澄川中学校体育館

指導者 札幌市立澄川中学校 鈴谷 勉

後援 札幌ジュニアバスケットボール連盟

## 6. その他

(1) 1 回目の練習は 6 月 23 日 (木) 午後 7 時~午後 9 時 に実施します。

練習できる用意をして直接体育館に来てください。ただし、午後 7 時までは本校の部活動が使用していますので、指示があるまで体育館には入らないでください (体育館前の廊下で待機してください)。保護者の方は路上駐車などされませんよう、ご注意願います。

(2) 参加費は無料です。

## 7. 昨年度の様子

毎回、男女合わせて 15 名前後の生徒で練習を行ってきました。さすがに参加者は、意欲的で、熱心に学ぼうとする生徒ばかりで、指導者としても、とても楽しく指導することができました。時には、10 名に満たない場合も数回ありましたが、そのような時は、練習内容を変更して、一人一人に現在悩んでいることや課題などを聴き、それに対応した個別指導を実施しました。

1 年間継続して参加することはとても大変なことですが、継続して参加した生徒には基礎的なスキルの向上が認められたように思います。

基礎的なスキルを本気で学びたいと思っている生徒のための企画ですので、練習内容についてはエンデバーの指針に基づいて、極力必要最小限に絞り、参加者の多くがある程度出来るまで時間をかけることと、同じドリルを反復して行うやり方に徹しました (今年度もこの方針で実施します)。5 対 5 などのゲームライクなドリルはほとんど行いません。また、実際に 1 度参加しただけで来なくなる生徒もいますが、自分に合わないと思ったら途中で参加をやめても構いません。

## 8. 参加した生徒の感想

○東区 中 3 女子

【参加して身についたこと】

・きれいなワンハンドシュートのフォームを身につけることができ、参加する前よりシュート確率が上がったこと。

・ドリブルが上手になって、ドリブルキープに自信がもてるようになった。オフェンスの種類も増えた。

・シェーピングが身について、ゲームで使えるようになった。

【参加した感想】

先日、他校の中学生に「ミニバス経験者なの？」って聞かれました。その時、「こう聞かれるぐらい上達したんだな」と思いました。そして、それぐらい上達できたのはこの教室に参加できたからです。ここで得た技術、知識、経験を使って、高校でもバスケットを頑張りたいと思います。